

平成29年度 自己評価結果公表シート

学校法人 清香学園

うらら幼稚園

1、本園の教育目標

・人格形成の基礎として本園のめざす子ども像

1. 素直な明るいよい子
2. 少しがまんの出来る子を重点目標にする

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもの発見や気づき、つぶやきを大切にしながら子ども同士のかかわりを大切にしていく事が出来るよう、全教職員共通理解をはかる。
- ・園内緑化(10年計画)
- ・子どもの目線に合わせ心情を読み取り園生活の中で子ども社会に目を向け理解を深める。同時に基本的な生活習慣(挨拶・身の回りの整理整頓等)をしっかりと身につける。
- ・認定こども園への移行の為の情報を得る。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子ども達の感性を共感しながら心身共に豊かな成長を育む	<ul style="list-style-type: none">・各クラス担任が子ども達に色々な体験ができるよう保育案を考え、子ども達が興味関心をもって取り組めるよう努めてきた。・学年毎でも話し合い、子ども達が今興味を持っている事、各クラス担任が子ども達に体験させる事により、子ども達に身につく事を考え取り組んできた。
子ども達の心の育ちを考える(支える)	<ul style="list-style-type: none">・こども一人ひとりとかわりながら、個々の内面を理解し、子どものよさを認め自信につながるように努めた。・子どもの個性を重視し、子ども一人ひとりがもっている力を引き出し、気付かせ自身や意欲が持てるようにする。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年から引き続き、家庭環境や子ども達の発達状況の違いにより、保育が難しい状況は変わらない発達障害の子どもに関しては保護者との連携を密にして医療方法や園での様子の情報交換を行い少しでも関わりがスムーズに持てるように心がけた。又、市の保健センター、医療機関、市の関係機関との連携も引き続き頻繁に行い、個の育ちに応じ適切な援助ができるよう努めた。

保育内容は子ども達が色々な体験を通じて、創意性を身に付け豊かな心をはぐくむ保育を工夫し教員研修の充実をはかりながら、保育の質の向上に努めた。

子ども達も園生活の中で自分が集団の中の一人であること、そして仲間の一人ひとりが大切な存在である事を知り「人を大切にす意味」を日々の保育の中で気付かせていけるようにしている。

地域への行事への参加はあまり出来なかった。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園内委員会の充実	園内においての主任・リーダーが中心となり委員会を開き新任教育や学年に応じた保育内容のポイントを抑え、保育の充実を考える。
姉妹園との交流、保育内容の確認 (認定こども園)	各園、園児どうしの交流 学年主任間の、意見交換、職員間の交流、意見交換を行う。 運動会や生活発表会の大きな行事をお互いに協力しながら行う。
地域・家庭との連携	保育園・小・中学校との交流をもち連携をはかる。 子育て支援活動を積極的に行う。 地域行事が休園日になり参加は難しい。
園内緑化	園庭の一部に芝生を植え草木・花の手入れをし育てる。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると思われる。

うらら幼稚園も認定こども園へ移行してはどうか。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。